

はしど



平成30年 1月 9日
学校便り 第9号
練馬区立橋戸小学校
校長 河崎 晃二

<http://www.hashido-e.nerima-kyo.ed.jp/>

☆学校教育目標 考える子・思いやりのある子・たくましい子

1, 1, 5, 8

校長 河崎 晃二

明けまして、おめでとうございます。ご家族おそろいで、良い年をお迎えのことと思います。お正月の3が日は天候もよく穏やかな日が続き、気持ちよいスタートとなったのではないのでしょうか。本年も、保護者や地域の皆様方には、昨年同様橋戸小の教育活動に深いご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、話は変わりますが、4, 5年ほど前に親子がタブレットを操作していると、「1, 1, 5, 8を+-×÷を用いて10にしましょう。」という問題が出てくるCMがありました。これは、「テンパズル」と言います。なぜ、このCMのことを思い題したのかというと、将棋界で話題の藤井聡太君が、移動中に車のナンバーなど、目についた数字でこの「テンパズル」をしていることを知ったからです。実は、私も子供の頃電車に乗ると、よく切符の4つの数字で10にしようと考えていました。最近はICカードを利用しているので、切符を買うことがなくなり、すっかりやらなくなりました。

ところで、この問題ですが結構難問です。皆さんもCMが流れた当時、実際にやってみた方もいらっしゃるかもしれませんね。

CMでは、お父さんがインターネットで検索して答え子どもに教えていました。皆さんだったらどうするでしょうか。

① CMのように解き方を説明する。

② 励ます&最低限のヒントを与える。

③ 放っておく。

私なら、子供の様子を見て、まだ余力がありそうなら…③の「放っておく。」にします。また、完全にあきらめているならば…②の「励ます&最低限のヒントを与える。」にします。

なぜなら、「試行錯誤する楽しさ」を子供に身に付けてほしいからです。最近では効率的に結果をすぐに求める傾向があります。これも大切なことですが、物事をじっくりと考えて行動することの大切さを忘れられているような気がします。試行錯誤するということは、これまでの知識や経験の一つ一つ思い浮かべ、つなぎ合わせていく作業を行っていくことです。つまり、考え方を身に付けていくことになります。

また、この試行錯誤を積み重ねていくことによって、算数に限らず将来困難に直面した時に自ら解決していく力になっていきます。

もう一つは、子供に「解けたときの喜び」を味わわせたいからです。これは、皆さんにも分かりますね。何かを頑張って、成功すれば嬉しいですし、苦労して成功すればなおさらです。

この2つの楽しさを、子供にたっぷり経験させることをこれからも大切にしたいと、私は考えています。

※ ヒント：小数 or 分数

